

外国人観光客の満足度 No.1シティを目指して

TAKASAKIを 世界へ発信



外国人向けの観光パンフレットを持つ皆さん。台湾語・中国語・韓国語・英語の4か国語に対応

今回のほっとTタイムのテーマは、外国人観光客への「おもてなし」。外国の観光客が来やすく、気持ちよく過ごせるようにするためにはどんなことが必要なのでしょう。

今回は「高崎海外ビジターおもてなし会議」のメンバーとなっている4人を迎え、外国人が考える外国人のための「おもてなし」について語っていただきます。



井上 ティナさん

台湾出身

来日28年目。前橋市のラジオ局に勤務し、県内の観光情報などを発信している



ドナ・サラシガさん

スリランカ出身

来日13年目。市内の特別養護老人ホームで介護士として働いている

市長 富岡製糸場の世界遺産登録や6年後に控えた東京オリンピックの開催など、これから高崎を訪れる外国人観光客の増大が見込まれます。今回は「外国人から見た高崎の観光」を考えようということで、いろいろな国の方が集まっていたきました。ティナさんは台湾から日本に来て、どれくらいになりますか？

ティナ 今年で28年目になります。高崎出身の主人と結婚したのでぎっかけてました。日本に来るまではお互い英語で会話していたので、最初は周りの言葉が全然分からなくて。

市長 日本語は難しいから、苦労されたでしょう。ドナさんはスリランカのご出身ですか。若い頃に行きましたよ。「インド洋の真珠」と呼ばれていて、自然が美しい所ですよ。

ドナ ありがとうございます。でも日本に来たら「スリランカってどこにあるの」ってよく聞かれます。

市長 ちょっと遠いですからね。ヤニックさんは高校で英語指導助手（ALT）として英語を教えているそうですね。高崎の印象はどうですか？

ヤニック とても過ごしやすいです。高崎駅の近くに住んでいるので、自転車ですぐどこへでも行けますし、晩酌するにも家の近くにいい店がたくさんあるんですよ（笑）

市長 ジョジーナさんもお仕事はALTですね。日本とガーナとは全く生活が違うでしょう？

ジョジーナ 今は慣れましたけど、日本に来て不便だったことがいくつかありました。だから日本で暮らすのに必要なルールをまとめた冊子を作ったんです。バスの乗り方や和式トイレの使い方とか、他の人が同じことで困らないように。

市長 これはいいですね。いくつか言語別に作ってもらいたいですよ。

ジョジーナ 日本の一般的なマナーをまとめたガイドブックがあれば、日本に来たばかりの外国人はとても助かると思います。

**500人の市民観光大使が
高崎の魅力を全国に発信**

市長 高崎で暮らしていて外国人が少ないと思いませんか？



ジョジーナ・アメイボさん

ガーナ共和国出身

来日8年目。日本の大学でデザインを学び、高南中学校でALTとして働いている



富岡 賢治 市長

高崎市出身

高崎にもっと多くの外国人観光客を呼ぶためにはどうすればいいか考えている

ヤニック それはすごく感じますね。東京行くと「自分は一人じゃないんだ」って思います。

ティナ 外からの観光客を集めるには、まず市内の外国人が「自分の国に高崎の良さをどう紹介できるか」を考えることが大事だと思います。

市長 そのとおりですね。今度「市民みんなが観光大使」というプロジェクトを始めます。市民500人を市の観光大使に任命して、地域の見所やおいしい店などの情報を月に1度発信してもらいます。皆さんにもぜひ大使になってもらいたい。

ヤニック 私はフェイスブックで外国人向けの情報を発信しています。

ティナ 今はいろいろなメディアが利用できますからね。例えば、友だち

ちとお気に入りのお店を紹介する動画を撮って、ユーチューブで公開するとか。手軽でお金もかかりませんし、楽しみながらできると思います。

ジョジーナ 日本の季節に合わせて催しを紹介してもいいと思います。

市長 それはいいアイデアですね。皆さんの力で高崎の良さを全国に広めてください。市民にとっても「外国人が見た高崎」には新しい発見が

あると思います。

安心して滞在してもらうために

市長 他に高崎にこういうのがあればいいな、というのがありますか？

ドナ 外国人同士が休みの日とかに集まって、情報交換ができる場所があればいいと思います。

ヤニック 私は国に関係なく皆が交流できるように「群馬インターナショナルクラブ」というのを日本人の友人と立ち上げました。この前は市内のスポーツバーで開催しましたが、50人くらい集まりましたよ。

市長 交流の場なら、ぜひまちなかの空き家を使ってください。サロンのようにお茶を飲むのもいいですよ。利用するのにかかる費用は市が助成します。

ヤニック 面白そうですね。高崎に来る外国人はビジネスマンが多いですから、ちょっと立ち寄れる場所があると助かると思います。

ジョジーナ 知らない場所で一人なのはやっぱり不安です。事故やトラブルがあったときにどうすればいい



ヤニック・パイロットさん

カナダ出身

来日5年目。英会話教室の講師を経て、高経大附属高校にALTとして勤務している

のできる仕組みを作りたいですね。

市長 こうした外国の方から意見を集められる会議は、今後も継続して行っていきたいと思っています。高崎が世界から注目されるまちになるように、一緒に頑張っていきたいと思います。本日はありがとうございます。

4人 ありがとうございます。

海外から見た日本の習慣

バスの乗り方や和式トイレの使い方、家庭から出るごみの分別方法——。私たちが普段の生活の中で当たり前のように思っていることでも、外国の人からすると分からないことがたくさんあります。それに気付くことができる心遣いが、「高崎のおもてなし」につながります。



ジョジーナさんが作った日本の習慣をまとめたガイドブック

ジョジーナさんのガイドブックから抜粋 日本の風呂について

ほとんどの日本の家庭では風呂は湯船と、洗い場に分かれています。多くの家庭では、家族同士の場合はその都度風呂のお湯を交換したりはせず、最後の人が入り終わるまで浴槽の湯は抜きません。ですから、お湯をつねにきれいにしておくために、バスタブに入る前に、よく体を洗うようにしましょう。